

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 20 日

評価対象事業		評価者	保険年金課長 森 啓匡	
健福-52	重点事業	小児医療助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 保険年金課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	子育て	施策の方針	すべての子育て家庭への支援

1 事業の目的

対象	0歳～小学校6年生の入・通院した者と、中学生の入院した者
意図	医療費を助成することにより、小児の保健の向上に寄与するとともに、福祉の増進を図るため。
効果	小児の養育者の経済的負担を緩和し、医療を受けやすい環境を醸成する。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・食事療養標準負担額を除く0歳～小学校6年生の入・通院と、中学生の入院にかかる健康保険自己負担分医療費の全額を助成した。(小・中学生については一定の所得制限あり。)
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数	13,646人		13,476人		17,000人		
運営資源状況	決算値(千円)	464,253	437,820	当初予算(千円)	518,445		
	国県支出金	62,417	62,612	国県支出金	78,424		
	地方債	0	0	地方債	0		
	その他	25,035	11,246	その他	10		
	一般財源	376,801	363,962	一般財源	440,011		
	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
事業経費運営	人件費(千円)	7,622	7,621	人件費(千円)	7,886		
	総事業費(千円)	471,875	445,441	総事業費(千円)	526,331		
	市民1人当りの経費(円)	2,662	2518	市民1人当りの経費(円)	2,983		
	対象者1人当りの経費(円)	34,580	33,054	対象者1人当りの経費(円)	30,961		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	2月議会で中学3年生までの通院についても医療費を助成することが議決され、29年10月実施に向けて準備を進めている。
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	中学3年生までの通院が対象となり医療費助成拡大に向けて予算を増やしている。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も、一部負担金のあり方について研究し、医療費助成の適正化に努め、安定的かつ継続的な運営を確保しつつ、小児の保健の向上と福祉の増進に努める。 また、29年10月実施の中学3年生までの通院が対象となり所得制限を設けて医療費助成拡大に向けて準備を進めている。
-------------------	---

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	医療費助成の適正化を確保し安定的かつ継続的な運営を図るため、今後も引き続きレセプト(診療報酬明細書)を適正に連携した助成を行うことにより業務を強化する。	
課題解決のために行った平成28年度の実績	医療費助成対象者を小学校6年生までとしていたが、福祉的な視点から対象者を中学3年生まで拡大する必要があった。中学3年生までの通院についても医療費を助成することが議決され、29年10月実施に向けて準備を進めている。なお、平成28年4月から支払基金に業務委託を行うことにより受益者の助成の利便性があり、適正な給付額の実現と業務の効率化を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	医療費助成の適正化を確保し安定的かつ継続的な運営を図るため、今後も引き続き医療費助成の一部負担金のあり方について研究していく。 当該業務は、さらなる受給者対象者の利便性の向上に向けた取り組みについては課題として捉えており、今後ともみらい部への移管を視野に入れ検討を行う予定である。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	所得制限制限年齢									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	就学前	小6	3歳	就学前	就学前	0歳	小6	0歳	中1	

比較事項	通院対象年齢									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	中3	小6	小3	中3	中3	小6	小6	小6	中1	

比較事項	一部負担金導入									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	一部負担金導入に対する県内各市の対応状況を把握しながら、必要に応じて市としての対応を検討していく。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	償還払いの件数	単位	件	指標の傾向		備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	領収書枚数
事務の合理化と伴にレセプトの適正な請求をすることに連携するため。	目標値				3,000	2,900	2,800	
	実績値	3,451	3,522	3,184				
	達成率							

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--